

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	切除不能膵癌に対する Conversion 手術の適応と予後に関する検討
	研究対象者	2015 年 1 月から 2022 年 12 月まで初診時切除不能膵癌と診断された患者のうち、全身化学療法後に膵切除術を施行した方。
	研究目的	初診時切除不能膵癌で化学療法著効例に対しては、根治的膵切除術を施行することで非切除患者に比べて予後が延長されることが示されている。一方で、特に手術適応を判断する条件に関するコンセンサスは得られていない。本研究の目的は、切除不能膵癌に対して根治切除術適応判断における臨床因子を明らかにすることである。
	研究方法	臨床データを用いて臨床病理学的因子や予後について検討する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2023 年 12 月 18 日～西暦 2024 年 12 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 [ ] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[ ] 試料:	[ ] 血漿、[ ] 血清、[ ] 全血、[ ] 末梢血から抽出した DNA、 [X] 病理検体(具体的に記載: _____)、 [ ] 尿、[ ] 糞便、[ ] 唾液、[ ] 胸水、[ ] 腹水、[ ] 脳脊髄液、 [ ] 毛髪、[ ] その他(具体的に記載: _____)
	[X] 情報:	[X] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X] 年齢、[ ] 生年月日、[X] 性別、[X] 既往歴、[X] 併存疾患、[X] 外来日・入院日・退院日、[X] 臨床検査値、[X] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[ ] ゲノムデータ、[ ] 看護記録、[ ] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 消化器外科（肝胆膵） 村川 正明
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
	外国へ提供する場合	該当なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	消化器外科（肝胆膵） 村川 正明 045(520)2222 利用停止のお申し出は 2024 年 6 月 1 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	